

モ シ ロ チ ヨ ウ

Pieris rapae



種名

分類	シロチョウ科
----	--------

形態

前翅長 20～30mm。よく知られている種であるが、スジグロシロチョウなど似た種があるので、同定には注意が必要。前翅表に2つ、後翅表に1つの黒紋があり、春型では後者の紋がうすくなる。翅脈は白色、外縁に黒斑をもたない。♀は♂より前翅基部が黒い。

分布

日本全土。人間が生活を営む周辺に多く、高山帯へも飛んでくる。しかし、山地ではふつうスジグロシロチョウ類のほうが多い。亜熱帯地域へは最近になって侵入、定着したもの。

出現期

本州中部では3月20日ごろから羽化を始め、11月まで年6～7回発生を繰り返す。寒冷地では4～10月にかけて、年3～4回。南西諸島では高温期に数が少ない。蛹で越冬する。

生態

キャベツ、タイコン畑、あるいは庭園などでたくさん見られる。日当たりのよい開けた場所に棲み、耕作地が広がるとともに、本種も分布を拡げた。春はアブラナ、ダイコン、タンポポ類、夏はヒャクニチソウ、アザミ類、秋にはコスモス、センダングサ類、セイタカアワダチソウなどの花で吸蜜する。♂は湿地で吸水することもある。

食樹

おもにアブラナ科植物を食べ、キャベツ、ダイコン、カブラなどの害虫として有名。ワサビ、アブラナのほか、イヌガラシ、タネツケバナなどの雑草も食草とする。フウチョウソウ科のセイヨウフウチョウソウ(栽培種)も食べることがある。

幼虫
(幼生期)

卵は乳白色の紡錘型で、高さ 0.8mm。幼虫は体長 30mm、黄緑色のアオムシ、蛹は頭部に突起をもち、体長 22mm。地色は緑色や褐色である。

出現時期

(月)	-	-	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	---

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チヨウ